

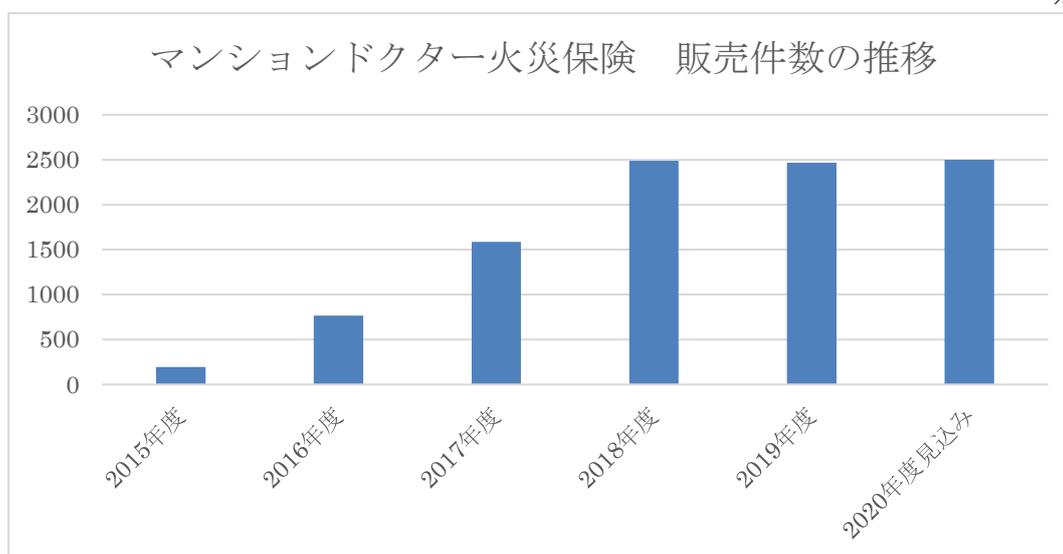
「マンションドクター火災保険」の累計販売件数が8,000件を突破！ ～「マンション管理適正化診断サービス」の診断棟数は累計11,000棟を超える～

日新火災海上保険株式会社（社長：織山 晋、以下「当社」）は、「マンションドクター火災保険」の販売件数が、販売開始から5年となる2020年8月末で累計8,000件を突破したことをお知らせします。

マンションドクター火災保険は、マンション共用部分を取り巻くリスクを総合的に補償する、管理組合向け火災保険で、マンション管理の専門家と連携し、“管理の質”に応じた保険料を実現した業界初[※]の保険です。

当社は今後も、「マンションドクター火災保険」の販売を通じて、マンションの住環境の維持・向上に貢献していきます。

※当社調べ



※グラフはそれぞれ単年度の販売件数をあらわしています。

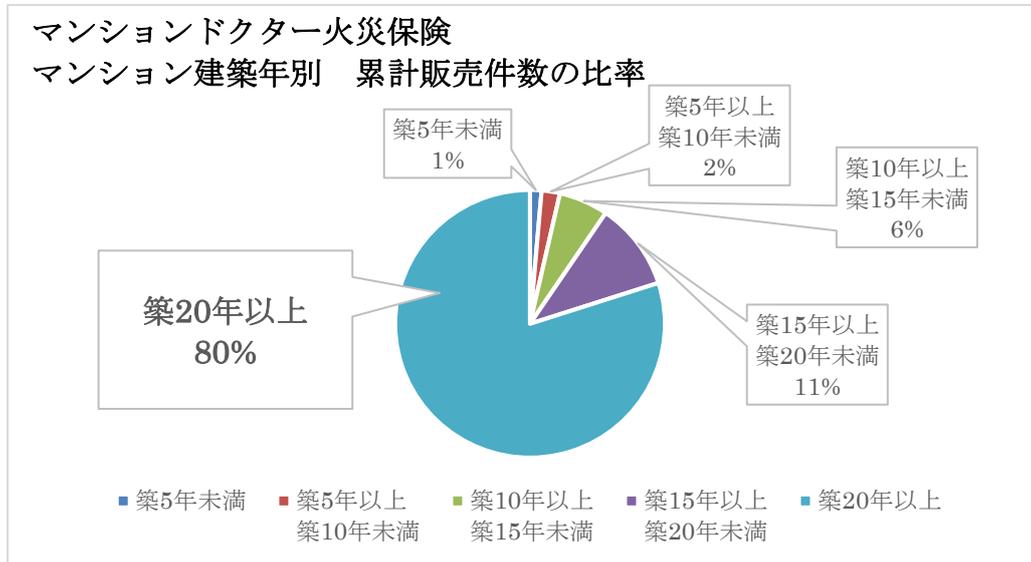
※2015～2019年度は販売実績、2020年度は年度末までの販売件数の見込みです。

《選ばれている2つの理由》

1. 建築年だけでなくメンテナンス状況に応じて保険料が決定。良質な管理には、割安な保険料を実現。

- マンション管理組合向けの火災保険では、マンションの高経年化が進むことで、水濡れ事故等が増加しており、高経年物件を中心とした保険料の値上げや、保険引受自体の制限等の対策を講じるケースが増えつつあります。
- このような中、当社は、高経年であっても適切な管理が行われているマンションにはより割安な保険料で商品をご提供したいと考え、建築年だけでなく管理状況に応じて保険料を決定する仕組みを導入しています。

- 具体的には、当社が業務提携する一般社団法人日本マンション管理士会連合会（以下、「日管連」）が実施する「マンション管理適正化診断サービス」の診断結果に応じて保険料が決まる仕組みを導入し、診断結果が良好な場合は、本商品に割安な保険料でご加入いただくことができます。
- こうした点を評価いただき、築20年超えのマンションの管理組合様を中心に、多くの方にご支持いただいています。



2. マンション管理の質向上に役立つレポートを、保険加入の有無にかかわらず無料で提供。

- 「マンション管理適正化診断サービス」は、日管連がマンション管理の質を高めることを目的に、無料で実施する管理状況の診断サービスです。本サービスでは、実際の管理状況を診断するだけでなく、今後の“管理の質”の向上に向けた改善点などを記載した「マンション共用部分診断レポート」を、保険加入の有無にかかわらず無料で管理組合様に提供しています。
- 全国の管理組合様から続々と診断のお申込みをいただき、診断棟数は累計11,000棟を突破しました。診断を受けられた管理組合様からは、「長年の取組みが評価されて嬉しい」「どこに問題があり、どこを改善すれば管理の質が良くなるのかがわかった」など、前向きな感想を多くいただいています。
- 診断を受けられた管理組合様の、マンションドクター火災保険への加入は任意ですが、診断後は半数以上の管理組合様に本商品にご加入いただいております。“管理の質”に応じた保険料のご提案は、多くの管理組合様に評価いただいております。

《ご参考》

- マンションドクター火災保険 公式サイト
https://www.nisshinfire.co.jp/mansion_dr_kasai/
- 一般社団法人日本マンション管理士会連合会
 - ・ マンション管理士支援制度の普及、周知を通じてマンション管理の適正化に資することを目的とする全国のマンション管理士会の統一組織。
 - ・ 公式サイト(<https://www.nikkanren.org/>)